

東区

HIGASHI-KU

区民と進める まちづくり



東区まちづくり計画

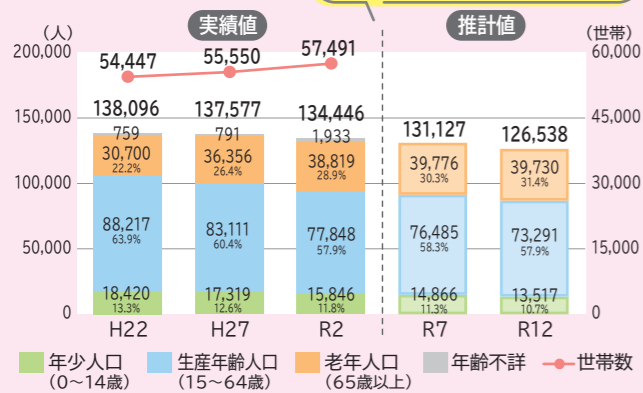




東区の基礎データ

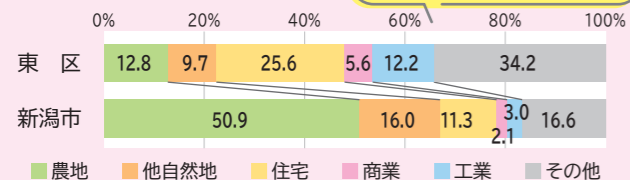
1 人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、今後も減少が想定されます。



2 土地利用

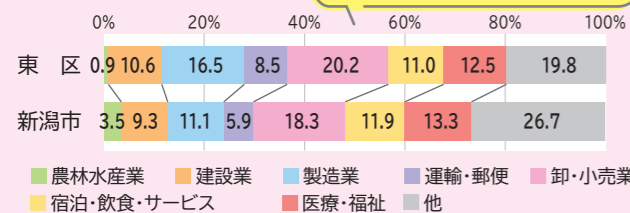
市全体と比べて住宅や工業の割合が高いです。



3 産業

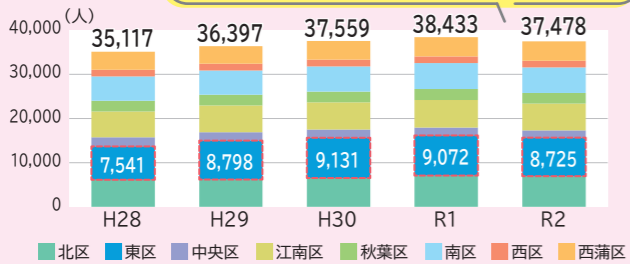
【産業別従業者】

市全体と比べて製造業や卸・小売業の割合が高いです。



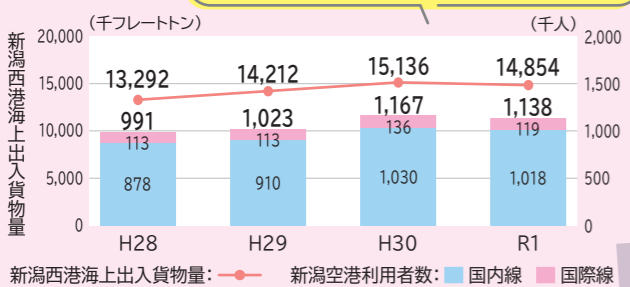
【製造業従業者数の推移】

東区は製造業従業者数が市内で最も多く、全体の2割以上を占めています。



4 新潟西港・新潟空港利用状況

新型コロナウイルスの影響を受けるまで、堅調に推移していました。



「東区」ってどんなまち? 港! 空港! ものづくり!



豪華客船が入港する港です!

新潟西港



市街地の中に豊かな自然があります!

じゅんさい池



新潟から国内、世界をつなぎます!

新潟空港



中地区 山の下・下山地区

東地区 木戸・大形地区

石山地区 石山・中野山地区



家族連れに人気の公園です!

寺山公園



多くの企業が集まり、工場夜景が圧巻です!

工場夜景



新潟市東区公認キャラクター「ぬたりん」

中地区 山の下・下山地区

港・空港と共に発展 昔からのまち

キーワード 港、空港、公園、工業

- 海と空の玄関口・人々の交流や物流が盛んです。
- 貴重な砂丘湖が残っており、憩いの場として親しまれています。
- 早くから宅地開発が進められた一方で、現在では工場跡地が見受けられます。



東地区 木戸・大形地区

東区のまんなか ものづくりのまち

キーワード 区役所、公園、工業、駅

- 福祉と文化施設が複合する区役所及びその周辺は、多くの人が集まる東区のまんなか拠点です。
- 通船川沿いに多くの工場や事業所が立地していますが、近年は住宅化が進んでいます。
- 工業地に挟まれた形で、東西に住宅地が広がっています。



石山地区 石山・中野山地区

交通環境を活かした 人・物が行き交うまち

キーワード 物流、鉄道、駅、高速道路

- 道路環境を活かし、卸団地をはじめ物流の拠点となっています。
- バス路線に加え鉄道が整備されており、移動手段が充実しています。
- 宅地開発が進められ、区画の整った住宅地が広がっています。



区づくりの方向性（区別構想）

方向性 1 多様な世代が住みやすいまちづくり

- 生活拠点では、多様な世代が住みやすいまちを目指します。
- 大規模遊休地等を活用し、安心・安全なまちづくりを進めます。



- ポイント!**
- 大規模遊休地等の活用
 - 多世代が住み続けられるまちづくり
 - 安心安全の向上
 - 公共交通を活かしたまちづくり

方向性 2 地域産業が発展するまちづくり

- 産業集積エリアでは、産業やものづくりを発信する場、雇用の場として守り、まちの持続的な発展につなげます。



- ポイント!**
- 良好な操業環境の維持
 - ものづくりの魅力発信
 - 雇用の確保

方向性 3 拠点を活かした賑わいのまちづくり

- 新潟西港や新潟空港の周辺では、拠点性を活かした地域産業の発展と賑わいの創出を目指します。
- 区役所及びその周辺では、まんなか拠点として活力あふれる土地利用を図っていきます。



- ポイント!**
- 港・空港を活かした賑わいの創出
 - 地域拠点の賑わい創出

方向性 4 貴重な水辺空間を活用したまちづくり

- 水辺空間は、市民が集い、憩い・賑わいの場としての活用を図ります。
- じゅんさい池は、地域の宝として利活用していきます。



- ポイント!**
- 水辺空間を活用した賑わいの創出

方向性 5 農地と集落を守り育てるまちづくり

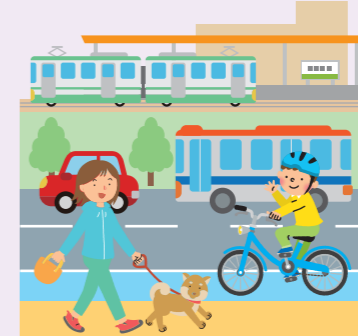
- 東南部に広がる農地では、農業がしやすい環境を守ります。
- 集落エリアでは担い手の育成や確保につながる生活環境づくりを進めます。



- ポイント!**
- 営農環境の保全
 - 農村集落の維持

方向性 6 快適に移動しやすいまちづくり

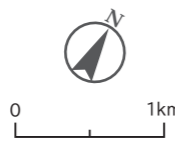
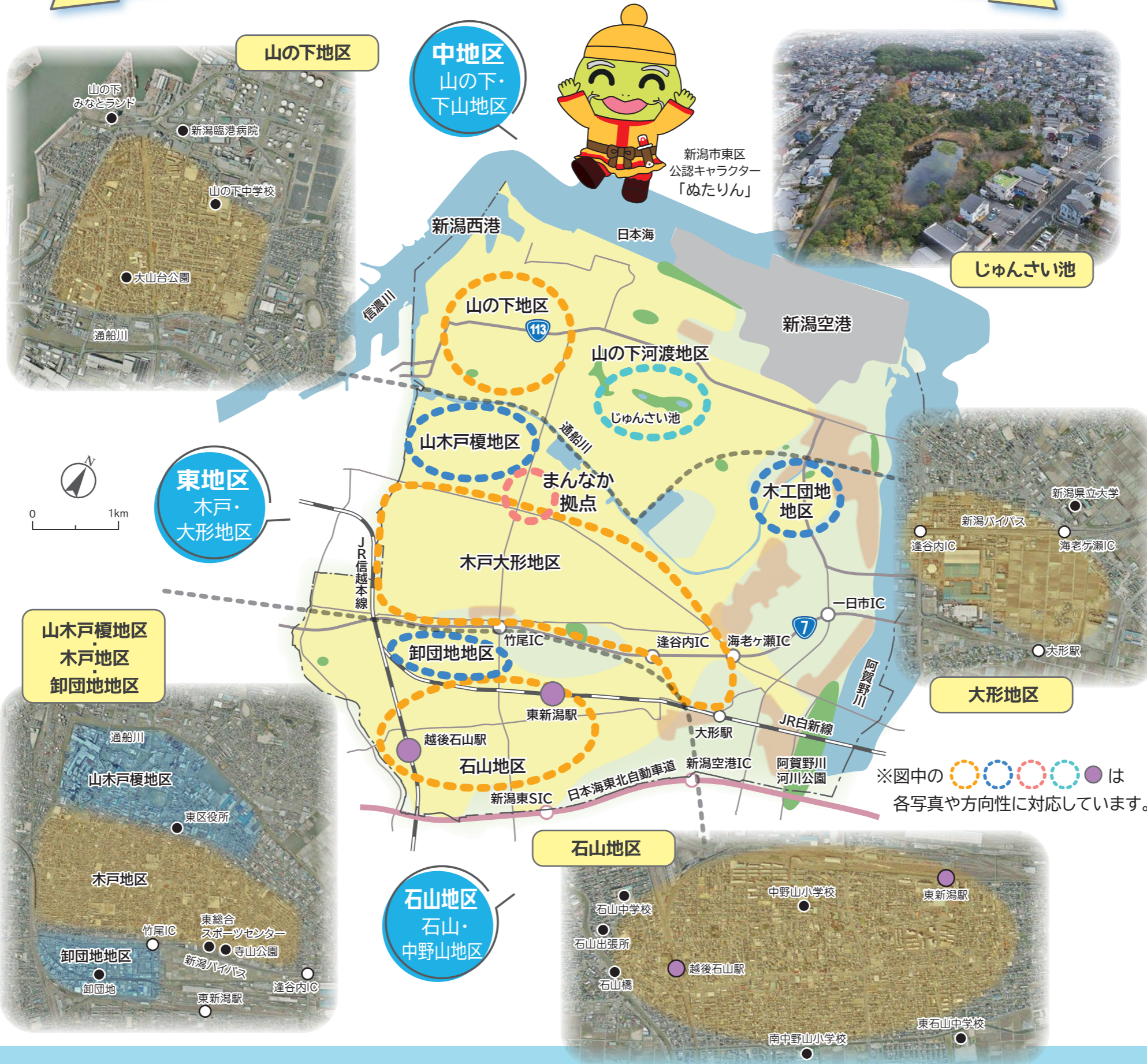
- 幹線道路をはじめとした道路は、交通の円滑化と安全対策を推進し、交通環境の向上を図ります。
- JR駅などでは機能強化を進めるとともに、身近で多様な移動手段の充実を図ります。



- ポイント!**
- 交通結節点における利用環境の機能強化
 - 幹線及び生活道路における交通の円滑化

まちづくり
の将来像

豊かな産業とやすらぎの水辺が調和し、
笑顔と元気があふれる、空港と港があるまち



※図中の○●●●●●は各写真や方向性に対応しています。

各地区の特性に応じた将来像

中地区
山の下・
下山地区

港・空港と共に賑わいのまちづくり

方向性1 大規模遊休地の活用

工場跡地など市街地内の大規模遊休地において、区民の暮らしが向上するよう、民間と連携しながらまちのリニューアルを進めます。



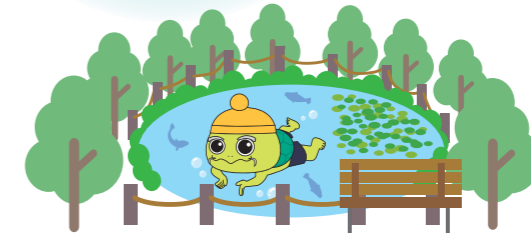
方向性3 港・空港を活かした賑わいの創出

新潟西港・新潟空港周辺において、地域と連携した賑わいの創出を図ります。



方向性4 じゅんさい池の活用

市街地内に残る貴重な水辺空間であるじゅんさい池を、区民の憩いの場、地域の宝として守り、活用します。



東地区
木戸・
大形地区

持続可能な居住空間の環境づくり

方向性1 多様な世代が住み続けられるまちづくり

幅広い世代や様々な立場の区民が、住み続け、学び、交流できるまちづくりを進めます。



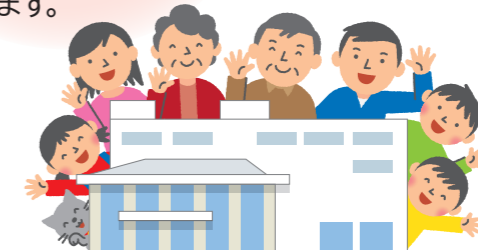
方向性2 地域産業の維持、雇用の確保

山木戸榎地区・木工団地地区では、将来にわたり産業・ものづくりのまちとして存続し続けられる取り組みを進めます。



方向性3 まんなか拠点周辺のまちづくり

東区のまんなかである区役所とその周辺において、多くの人が集まる賑わいのまちづくりを進めます。



石山地区
石山・
中野山地区

移動しやすく暮らしやすいまちづくり

方向性1 駅が中心の住みやすいまちづくり

JR駅周辺では、公共交通の利便性を活かした、移動しやすく暮らしやすいまちづくりを進めます。



方向性2 操業環境の維持

卸団地地区では、物流拠点・業務集積地としての操業環境を維持するためのルール作りを進めます。



方向性6 快適に移動しやすいまちづくり

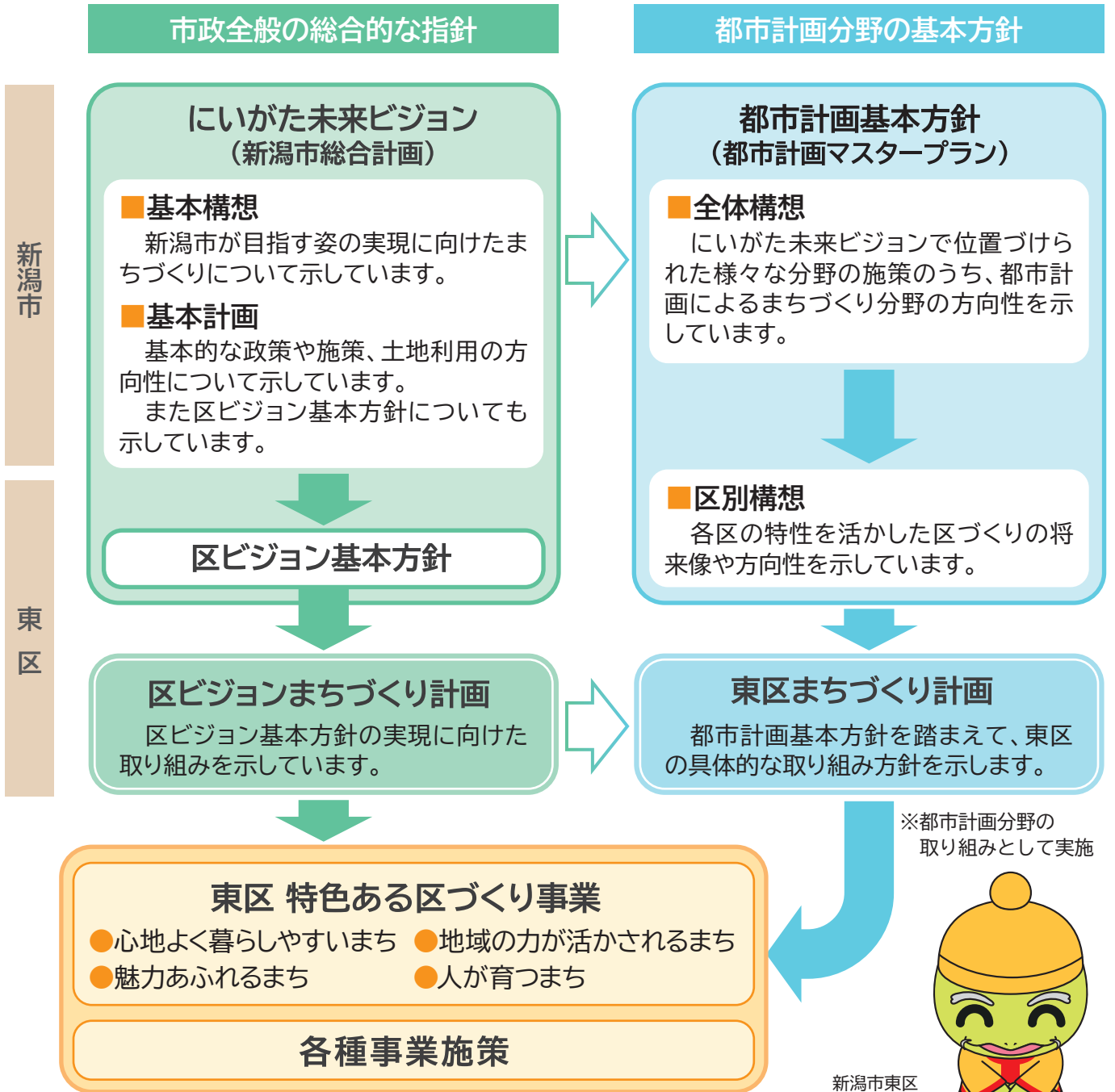
バスや鉄道などの公共交通を、誰もが利用しやすい環境となるようバリアフリー化などの整備を進めます。



東区の「まちづくり」ってどのようにすすむの？

新潟市では、市全体の目指す姿やまちづくりの方針を示す計画として、「にいがた未来ビジョン（新潟市総合計画）」や「都市計画基本方針（都市計画マスタープラン）」を策定しています。この中で、各区の特性を生かした区づくりの将来像や方向性を「区ビジョン基本方針」、「区別構想」として示しています。

東区では、都市計画基本方針の「区別構想」で示されている方向性に沿ったまちづくりを実現していくため、さらに具体的な取組方針や個別の事業に関する行動計画等を取りまとめ、区民と協働によるまちづくりを進めていきます。



問い合わせ

新潟市東区役所建設課 〒950-8709 新潟市東区下木戸1丁目4番1号 TEL:025-250-2641

※本リーフレットは、東区自治協議会より意見をいただきながら作成しました。